

《奥州》新規就農事例・農作業体験研修（施設ピーマン）を開催

就農に向けて準備中の就農希望者等が、先進的な若手野菜経営体での講義や作業体験を通じ、就農後の経営イメージの明確化することを目的に、施設ピーマンの新規就農事例・農作業体験研修（主催：胆江地方農林業振興協議会）を実施しました。

10月1日、金ヶ崎町西根の北舘大祐氏のピーマンハウスほ場に奥州市地域おこし協力隊2名を含め、就農希望者5名が参加しました。

北舘氏からは、首都圏の青果流通業に従事していた経歴を生かしつつ、資金繰りが重要であること、就農前の研修期間でハウスの建設作業を経験したことが、就農後の中古ハウス等を集めて現在の25a規模にまで拡大した秘訣であること等の説明を受けました。

また、作業体験では効率的な収穫摘葉作業の秘訣の指導を受け、収穫時の基本動作や必須アイテムも紹介いただきました。

参加者からは、「器具や苗などの費用を具体的に教えていただき、就農の道筋が見えてきた」、「農地や作目だけでなく、経営者としてお金の流れをつかむことが大事とわかった」等の感想が聞かれ、本格的な就農にむけ参考となった様子が見られました。

普及センターでは今後も新規就農者確保・育成に向けた支援に取り組んでまいります。



講師から就農経過等説明



参加者の作業体験（収穫）